

「人財」のいるベトナムに進出、人材育成に力点 (株式会社 マグエックス)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:東京都中央区東日本橋1-9-13
ユウワビル
- 代表者:代表取締役 阿部 城士
- 資本金:8,710万円
- 売上高:27億円
- 従業員数:96名
- URL:<http://www.magx.co.jp/company.html>

①事業概要

＜マグネット製品の製造・販売＞

昭和47年に世界で初めてマグネットシートを開発した専門メーカー。マグシートの代表例は、初心者マークやシルバーマークがある。当社のプラスチック・マグネット(プラマグ)は、特殊レジンと磁性酸化鉄粉(フェライト磁性粉)を主原料とし、その製品目的に応じた各種プラスチック成形機により生産されるものである。当初スタートしたときには現在のようなプラマグ対応の特殊レジンや各種成形機械装置等は皆無に等しい状況であったが、幸いにして各メーカーにおけるプラマグに対する興味と関心のもと、研究開発協力により国内で初めてプラスチック・マグネットを誕生させることができた。

②海外展開概要

＜東南アジアにおける工場設置＞

当社の製品は、中国製品による低コスト品に対抗するため、海外生産拠点の確保が急務となり、海外生産工場の進出を検討することになった。そのため中小機構と相談しながら、候補地の選定を進めた。

平成11年に主力海外生産拠点の一つとしてベトナムへの進出を決定した。平成13年1月に投資申請を行い、ベトナム政府による外資製造業への裾野産業育成の後押しもあり申請をした翌日に認可が下りた。翌日に認可が下りるというのは前代未聞のことであり、当時、現地のメディアが報道したくらいであった。進出は、ベトナム国内の法的な問題を含め、商習慣などを調査し、マーケティングを行おうとしたが、人的にも資金的にも負担が大きく、中小機構に相談した所、現地アドバイザーにもアドバイスを無料で見つけられて大きな原動力となった。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

進出当時は中国への投資が大変であり、ベトナム向けは少なかった。中小企業にとって海外進出は特にリスクが高いが、それを成功に導くにはいかに現地で優秀なワーカーを採用できるかにかかっている。他国と比べてベトナム人は、親日的な感情をもっており、日本人に似た物の考え方や仕事への取組があると思っている。

④今後の事業展開について

まず、「人ありき」の原則にたち、現地での人財を大いに活かしていくことにより、今後ともますます当社の生産工場として重要な役割を果たすべく、ベトナム工場の発展に期待している。

今後は、工業団地内での新工場建設に向けて計画を進めている。



(平成24年10月現在)

データ出所:(独)中小企業基盤整備機構